

<保育士・幼稚園教諭>

Q. HPで津市は幼保小連携に力を注いでいると書かれていましたが、どんなことをしていますか？

A. (職員A・幼稚園教諭)

現在、津市では津市架け橋プログラムとして、幼児教育と小学校教育の相互の理解と、互いの保育・教育の充実と改善をめざして、子どもの姿をもとにした話し合い等を行っています。その中で、幼児教育側としては、子どもが主体的な遊びを通してどのように学んでいるのか、子どもを理解した上でその子にどのような力をつけたいのか等のねらいを持ちながら、一人一人にあった丁寧な保育をしています。

A. (職員B・保育士)

津市架け橋プログラムの取り組みは公立、私立の枠を超え、保育園、子ども園、幼稚園、小学校の職員の代表が集まって意見交換を行う場となっているので、幼保小連携を進めていくうえでとても貴重な時間となっています。

Q. 私立や公立の園がある中で、津市の公立園のよさはどんなところですか？

A. (職員A・幼稚園教諭)

津市の幼稚園ではICT化が進んでおり、幼稚園の各クラスにタブレットが配置されていますので、業務改善とともに保育の中で、子どもと一緒に共有したり、探求したりという目的でも使用しています。

津市の公立幼稚園では、園児数が少なくなっている現状があります。その様な中でも、遊びを通した幼児の学びを大切にしていますので、子どもの成長する過程をしっかりと感じ取ることができるということは、子どもが好きでこの仕事を選んだ私たちにとっては一番の魅力です。また、職員数が少ないため、職員同士が力を合わせて子どもを育てるという意識があり、そのような風土のよさも魅力です。

A. (職員B・保育士)

津市の保育園、こども園では令和4年度より保育ICTシステムを導入し、保育士の事務負担軽減だけでなく、保育業務に集中できる環境をしっかりと整えている点が魅力でもあります。ICT化により下記のような業務改善がされました。

- ① 登降園打刻システムは園児のQRコードをコードリーダーにかざすだけで、園児の登降園の時間が自動的にシステムに入力されます。
- ② 午睡チェックをタブレットで行っています。午睡中の園児の安全について

て記録をするものですが、ペーパーレス化にもつながっています。

- ③ 園だより、その他配布物についてはWEBで配信しており、紙と比べると印刷作業がないので、作業効率も上がりました。

Q. 一番、困ったこと（大変なこと）はどんなことですか？

- A. 職種に関わらず、どのような職場でも働く上では、人間関係は大きいと思います。例えば、保護者との関係の中で、自分の思っていることと、相手の思っていることのズレをどんなふうに近付けていくかということが大変だと思います。でも、その分、分かり合えた時の達成感は大きいです。幼稚園では、一人で悩まずにみんなと相談しながら、様々なことに対応しています。

Q. 公務員（保育士）を志望した理由は？

- A. (職員A)

自分自身が小さい時から公立保育園に通っており、実習で実際に園を見た際も温かい雰囲気だったので、志望しました。

- A. (職員B)

福利厚生良さです。育産休がしっかり取れ、復帰後も希望によっては育児のための短時間勤務ができます。また、転勤がある為、保育観が偏らず働きやすいためです。

Q. 実際に働いてみてどうですか？

- A. 働きやすい環境だと思います。1年目で不安だった時も、先輩保育士とは別にプリセプター（指導役の職員）保育士がおり声をかけてもらっていたため、保育やその他の悩みや雑談もでき、ありがたかったです。休暇等の制度もしっかり保障されているのも良いと思います。

Q. 働くまでにやっておくと良いことはありますか？

- A. ピアノの練習で季節のうたを弾いておくとうちが良いと思います。また、エプロンシアターやパネルシアターなどの保育教材も作っておくと、現場で役に立つと思います。

Q. 時間外はどれくらいしていますか？

- A. 行事前やクラス、園によって異なるとは思いますが、今は定時で帰ることがほとんどです。

Q. 実習時と働き始めてからのギャップはあるか？困りごとは？

A. いきなり担任を持つ事があり大変さはあるが、自分の保育を出来るため緊張感は少ないです。また、複数担任になると担任間のコミュニケーションが大切になってくるため、年齢の離れた先生とのコミュニケーションの取り方に慣れず緊張しました。